

組付要領書及び部品表

Takakita

Mix 1-7

日農工標準オートヒッチキット

MX2201用

MX-OL-2



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この組付要領書は、**Mixソーワ用日農工標準オートヒッチ(I:II規格)用部品**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはMixソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡しください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警告サイン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、PTOを切ってから確実に取り付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生のおそれがあります

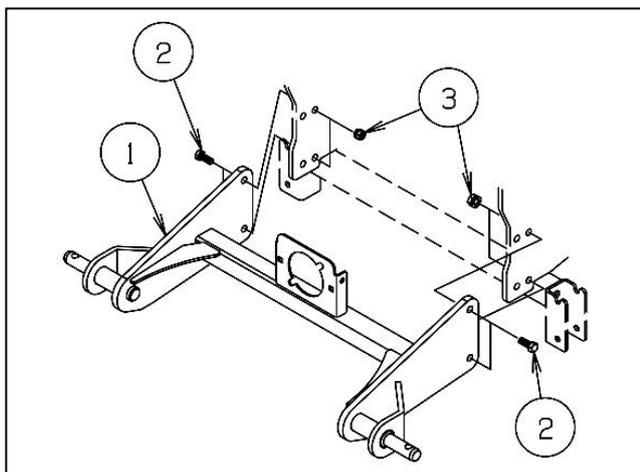
日農工標準オートヒッチ I・II 用部品

日農工標準オートヒッチ I・II 規格 (OL形) をお持ちのお客様は、次のキット部品を組付けていただくとオートヒッチで本機の着脱ができます。

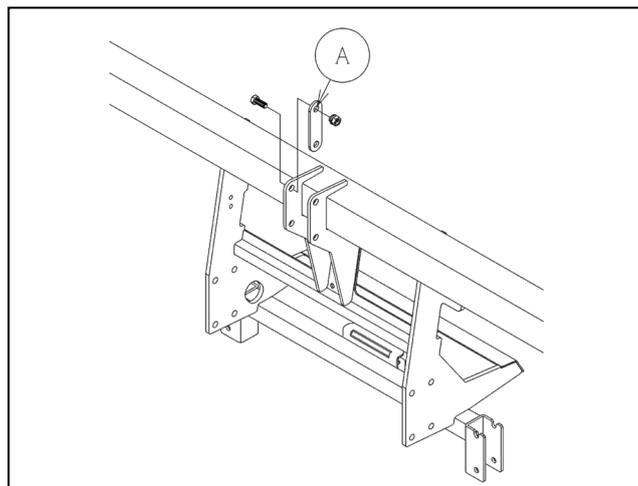
◆組付け手順

[1] フレーム関係の組付け

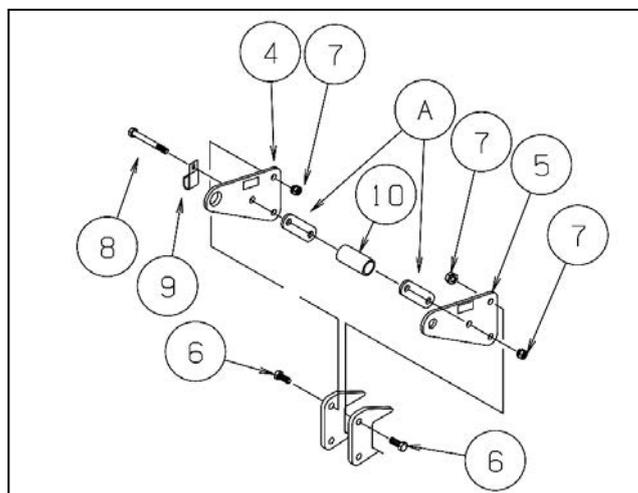
- (1) 本機フレーム側のローリンク部の進行方向後側の穴に②ボルト (M12×40 (8T))、③スプリングナット M12 で①ローリンクブラケットを外側に組付けてください。



- (2) 本機フレーム側トップリンク部の内側に付属しているⒶスペーサー 2 枚を取り外してください。取り外したスペーサーは後ほど使用するため、保管しておいてください。

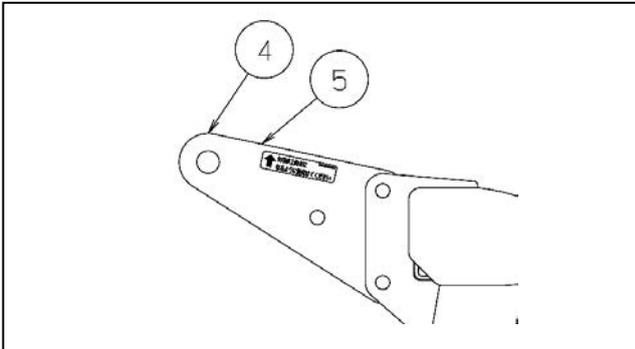


- (3) 先ほど取り外したⒶスペーサーを間に挟むように、④トップリンクブラケット R と⑤トップリンクブラケット L を本機フレーム側トップリンク部に組付けます。④トップリンクブラケット R と⑤トップリンクブラケット L が内側になるよう⑥ボルト (M12×40) ⑦スプリングナット M12 で組付け、⑧ボルト (M12×85) で⑨クランプ、⑩カラーを組付け、それぞれ⑦スプリングナット M12 で固定してください。



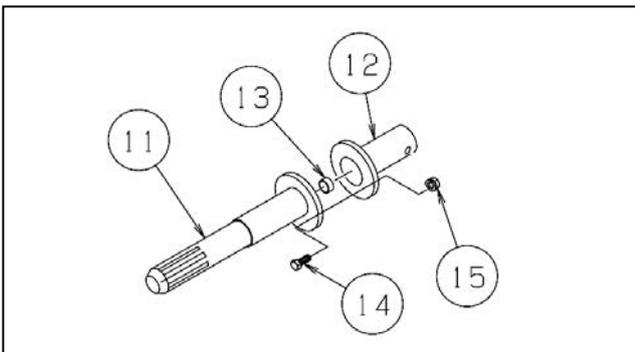
注意

④⑤トップリンクブラケットLRは次のように、矢印が上向きになるように組付けてください。



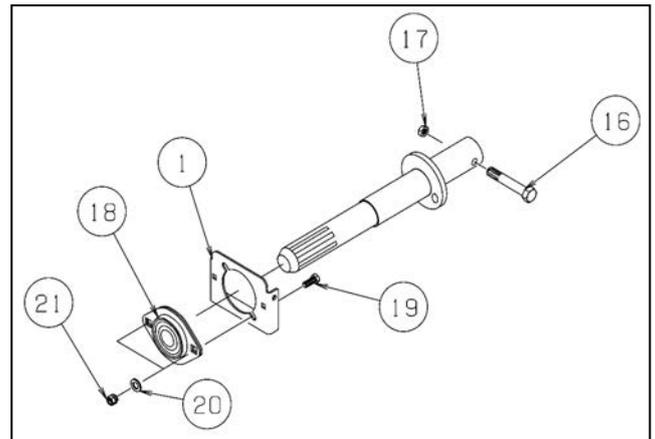
[2] 軸関係の組付け

(1) ⑪スプライン入力軸と⑫シェアホイルの間に⑬ドライメットブッシュを組付け、⑭シェアボルト(M6×25(8T・ゼンネジ))と⑮ナイロンナットM6を組付けてください。



(2) (1)で組み立てたスプライン入力軸を本機側の入力軸に接続し、⑯セットボルト(M8×45)、⑰ナイロンナットM8で固定してください。

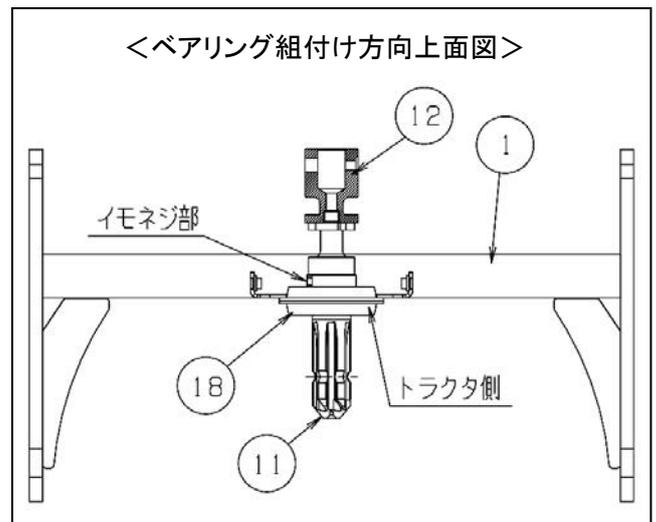
そして、スプライン入力軸を①ローリンクブラケットに差し込み、⑱ベアリングを本機側がイモネジ部になる方向で、①ローリンクブラケットのトラクタ側から組み込み、⑲ボルト(M10×25)、⑳ヒラザガネM10、㉑スプリングナットM10で組付けてください。



注意

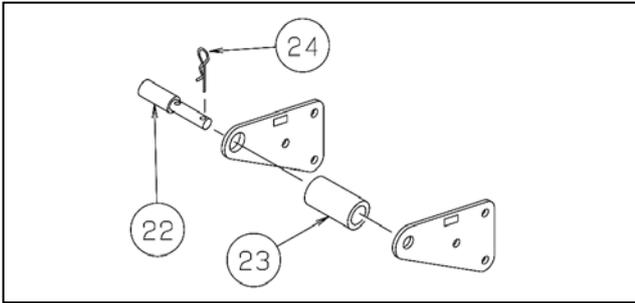
ベアリングを組み込む時は、スプライン入力軸がブラケット穴の中央で組付けられていることを確認してください。ズレたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

＜ベアリング組付け方向上面図＞

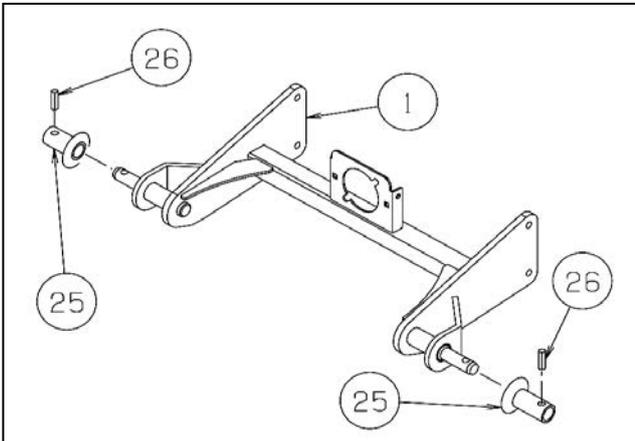


[3] カラーの取付け

(1) トップリンクブラケットに②②トップリンクピン、
②③トップリンクカラー、②④アールピンを組付けて
てください。



(2) ①ローリンクブラケットに②⑤ガイドカラー、
②⑥ロールピンを組付けてください。



[4] スタンドの取付け

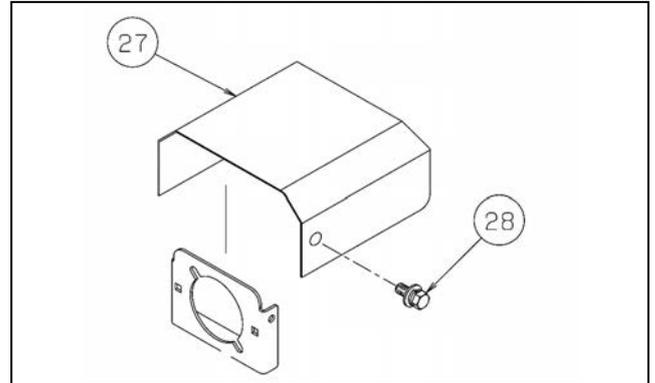
次ページの図のように、リンチピンでスタ
ンドを組付けてください。

[5] マッチング

本機をトラクタとマッチングする前に、P
T O軸を手で回し、アジテータがスムーズ
に回ることを確認してください。

[6] ジクカバーの組付け

最後に②⑦ジクカバーを②⑧ボルト(M8×20)
で組付けてください。



▲注意

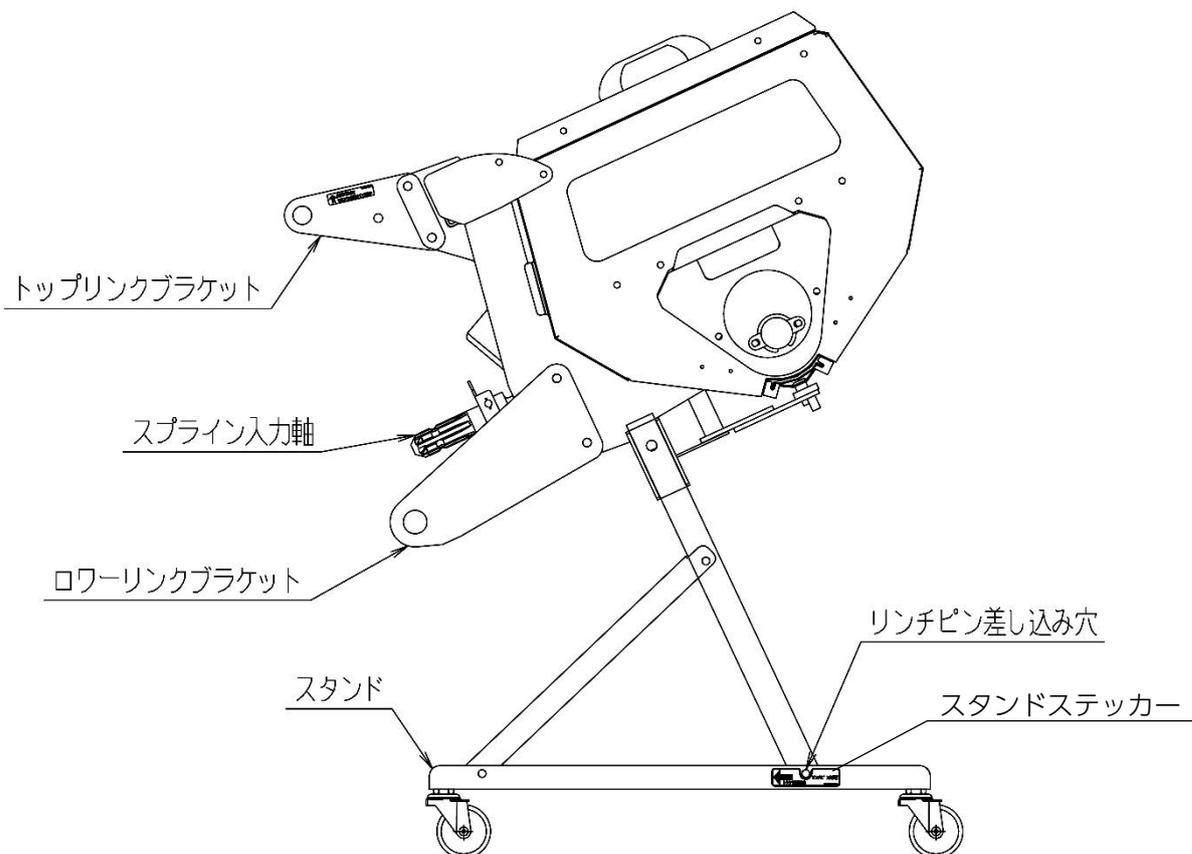
使用前に各部の組付けに誤りがないか、
ボルト・ナット等が確実に締付けられて
いるかを必ず確認してください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのローリンクをゆ
っくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が
干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装
置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

◆組立完成図

《日農工標準オートヒッチ（OL形）》



スタンドの組付けはスタンドステッカーの矢印が進行方向になるように組付けてください。